



□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会

□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98

□ TEL 028(677)5033

□ <http://www.hokoren.com>

□ E-Mail : information@hokoren.com

□ 編集責任者 七井 真人

■ 第3回役員会を開催

第3回役員会を10月4日開催しました。河合会長は、「9月の天候は前線が本州に停滞したほか、台風が度々襲来し日照不足が深刻でした。日本経済は日銀短観によれば非製造業の景況感が悪化傾向にあることや個人消費の低迷による影響で景況判断指数は悪化しています。

海外では、アメリカの景気は底堅いと見られていますが、11月の大統領選挙や利上げの見通しもあり注意を払う必要があると思います。欧州でもドイツを始めとする国々の景気は緩やかに回復していると見ていますが、EU離脱問題を抱える英国は離脱交渉の行方が気になります。中国は足元の景気が緩やかに減速していることから注意が必要です。全世界の景気は全体として堅調に推移しているものの、景気の下振れリスクを抱えていることから楽観視することなく引き続き注意が必要と思います。

一方、芳賀工業団地を取り巻く話題としては、いよいよJR宇都宮駅を中心として東西に延びる基幹公共交通となるLRT事業が具体化してきました。

安全で安心な工業団地を目指す芳工連としては、LRT実行計画については、工事期間中の安全対策はもとより交通渋滞対策の一助になるよう、計画段階から意見交換をしっかりと実施しなければならないと思っています。会員企業のご意見を反映できるよう今後ご協力をお願いします」と挨拶しました。

議事については次のとおり決定しました。

- 1 栃木県産業労働観光部長との意見交換会については、11月2日に開催することとし、開催要領、質問・要望事項を決定しました。
- 2 栃木県県土整備部長及び関係土木事務所長への陳情については、日時、陳情内容を決定しました。
- 3 芳賀町商工会と芳工連との交流会開催については、11月29日（火）とすることを決定しました。
- 4 賀詞交歓会の開催については、1月13日（金）の開催としたうえで、詳細は総務企画部会で協議いただくことになりました。
- 5 第4回役員会開催期日については、12月20日（火）に決定しました。
- 6 その他、各部会の活動実績及び事業計画、ロマン花火の協賛金及び金券利用実績、芳賀町長との意見交換会の結果について事務局長から説明し承認いただきました。



■ 県県土整備部長へ陳情

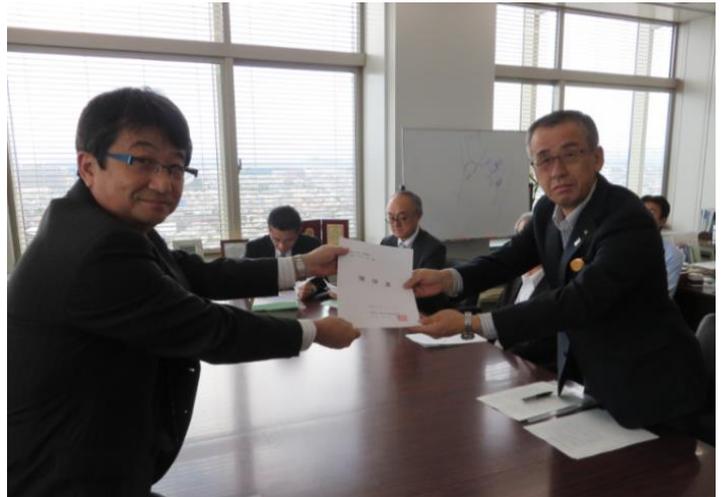
10月31日に河合会長、森田副会長、事務局七井が栃木県庁へ県県土整備部長を訪問し、印南部長に陳情書を提出しました。

江連次長、黒岩道路整備課長、宇都宮土木事務所齋藤所長、真岡土木事務所熊倉所長、矢板土木事務所狐塚所長ほか担当県職員にも同席いただきました。

河合会長は、「本日は、私ども芳工連のために貴重な時間を頂戴して感謝します。芳工連として考える優先順で5カ所の道路整備促進を陳情させていただきます。特に今回はLRT事業が具体化してきたことから、軌道敷設工事に関連した交通渋滞を懸念し、迂回路として機能する路線を見直した上で、優先順位をつけて整備促進をお願いするものです。交通渋滞で地域の皆様にご迷惑を掛けることは工業団地立地企業として心苦しいと思っています」と挨拶しました。

道路整備促進の陳情をした路線は次の5路線です。それぞれ部長並びに関係職員から状況について丁寧なご説明をいただきました。

道路整備促進の陳情をした路線は次の5路線です。それぞれ部長並びに関係職員から状況について丁寧なご説明をいただきました。



1 主要地方道 宇都宮・向田線の大塚地区道路改良の促進について

要望活動のお蔭で、今年度から新たな補助事業（これまで交付金事業）の採択を得て、当初から潤沢な事業費を確保できました。用地等の問題はあるが平成31年度末の完了に向けて、進めていきたいと考えています。

2 宇都宮テクノ街道の新4号国道までの延伸（接続）の促進について

市道312号から新4号国道まで600mが残っているが、順調に用地交渉が進んでいるので今年度中に一部工事の着手が出来る状況です。

3 宇都宮・高根沢バイパス（国道408号）の整備促進について

北は宝積寺バイパスから南は宇都宮テクノ街道までの間は、平成29年3月に暫定2車線で通行させます。さらに南へ宇都宮・向田線までは平成30年度に接続させる予定です。

4 県道上高根沢・氏家線の廻り谷地区の道路新設（バイパス）の促進について

平成27年度から用地を取得していますが、平成28年度は本格的に用地取得中であり、順調に推移しています。

5 真岡・宇都宮バイパス（国道408号）の国道123号交差点立体化について

県としては先ず2車線の接続で進めるが、大塚地区の道路改良、宇都宮テクノ街道の新4号国道接続、宇都宮・高根沢バイパスが供用開始されても渋滞が激しいようであれば、状況を見極めながら計画を振り替えて立体化を検討することになります。

■ 総務企画部会

(1) 第2回部会開催

10月27日開催した第2回総務企画部会には9社から9名の参加をいただきました。

協議事項は今後予定されている事業の開催要領についてです。

11月11日（金）の全体研修会については、部会担当者である日新航空サービス蓬莱支店長から、人気洋菓子を製造販売する工場と伝統的製法に拘る日本酒の蔵元を研修する予定である旨の説明がありました。

賀詞交歓会は1月13日（金）午後5時からホテル東日本宇都宮で開催することを決定し、招待者及び要領について協議しました。

第36回ボウリング大会は2月8日（水）に開催することを決定しました。また、次年度になりますが平成29年度新入社員研修を4月中旬に開催することを決定しました。

事務局から11月9日（水）の初級管理者セミナー及び11月26日（土）の第53回ゴルフ大会の参加申込み状況等についてご説明しました。



(2) 若手研修会開催

10月11日開催した若手研修会に入社して5年から6年前後の社員さん17名が11社から参加されました。

講師から冒頭に、「競争社会にあって、他社優位性を確保するため、サービス提供者の人格が商品である」との言葉は、受講者にインパクトを与えたようです。

カスタマーサティスファクションの概念、ビジネストーク術、段取りの良い命令の受け方と報告の仕方、相手のタイプ見極め術、納得させる説得術など、一日コースとしては盛りだくさんのメニューでしたが、緊張のなかにも意欲ある受講者の態度が好印象でした。

受講者アンケートで、「自己啓発への大きなきっかけとなった」、「ビジネストークを意識して実践します」、「コミュニケーションの大切さを学びましたので実践します」などの感想が寄せられました。

実践的なメニューが用意されている研修ですので、今後はさらに多くの皆さまに受講いただければ幸いです。



■ 安全衛生部会

10月28日開催された第2回安全衛生部会に9社9名の出席をいただきました。

協議事項は下半期に計画している事業の詳細です。特に11月25日に開催する危険予知訓練研修会及び12月15日に開催する安全活動事例発表会については細部にわたり入念な協議をしました。

危険予知訓練研修会については、部会開催前にコーディネーターと講師がカリキュラムの詳細を検討し、職場へのKYT導入による災害「ゼロ」を目指すための効果的な研修について協議しました。

12月15日に開催する安全活動事例発表会については、日本梱包運輸倉庫(株)栃木営業所様の事例発表、真岡労働基準監督署長の講話、(株)ショーワ栃木開発センター様による全国産業安全衛生大会レポートを予定しています。是非、多くの皆さまに参加申込みいただきたいと思います。



■ 交通防犯部会

交通防犯部会では10月27日、工業団地管理センターにおいて安全運転講習会を開催しました。14社から参加された30名の受講者は90分コースの動画による危険予測トレーニングを行いました。

運転時に危険を予測することは安全運転に欠かせませんので、危険に対する感受性を高める訓練については短時間でも繰り返すことが重要とのことでした。

今回の動画KYT（危険予測トレーニング）は、前方スクリーンに自分が運転する車のフロントガラス越しの前方視界が広がり、恰も自分が車を運転していると思える状況が映し出されます。

道路走行中に交差点を通過する際の危険、物の陰、見えない場所から進行する車や人などと接触する危険を感じ、すばやくボタンを押すことで、事故の危険予知に対する感受性を体験し自己評価する仕組みです。事故の状態をイメージできますので、追突する、追突されるなどの対策が出来やすくなります。

このトレーニングで危険を感じる能力が高まったことを実感できました。見えない危険を予測する運転の重要性を再認識しました。

最後にインストラクターから運転計画能力についてのアドバイスがあり、走行ルート、工事箇所の把握、時間予測などを事前に頭に置くことが安全運転に求められる、との説明でした。



■ 環境整備部会

環境整備部会では工業団地に立地するすべての事業所にクリーン作戦への参加協力をお願いしています。

今年度の第3回クリーン作戦は、9月に逆戻りしたような陽気となった10月20日に工業団地内5ブロックに分れ実施いただきました。

今回は50社180名の皆さまが一斉に会社付近の道路、側溝、緑地帯の清掃にご協力いただきました。

工業団地に立地する企業様の不断の清掃活動が徹底されていることから、今回のゴミ収集量は前回と比べ随分少なかった状況です。

毎回クリーン作戦に多くの社員の動員にご協力をいただいている企業様、熱心に清掃活動に参加されている皆様に改めてお礼を申し上げます。



■ 栃木地方産業安全衛生大会に参加

10月5日 真岡労働基準協会主催の優良事業所視察が午前中実施されました。午後は栃木県総合文化センターで開催された栃木地方産業安全衛生大会に芳工連会員企業の皆さまとともに参加しました。

優良事業所視察は清原工業団地に立地する久光製薬株式会社宇都宮工場でした。

当社は1847年佐賀県鳥栖市で創業、昭和19年に現在の会社を設立した歴史ある会社です。東日本の生産拠点である宇都宮工場では、整形外科領域の腰痛症やリウマチ治療で使用される医療用医薬品として使用されているモーラス・テープを主に生産しています。

担当者のご案内で、清潔かつ安全なクリーンルームで厳格な管理・検査体制のもと製造されている様子をガラス越しに見学しました。

シップ薬（市販薬サロンパス）として誰でも使用したことがあるモーラス・テープですが、お客様からの要望で15～16回の改良を重ね、安全で使い易い形状になったそうです。

製造工程は、薬剤が塗り込まれたクロスロール（伸縮性生地のリール）がセットされ、これにフィルムを重ね合わせ一定の大きさに裁断され、袋詰め、段ボール詰めされていきます。

海外の生産拠点はベトナム、インドネシア、ブラジル、アメリカにあり、近年は海外需要も伸びているそうです。

血液中の薬濃度をコントロールし、安定して治療効果を継続させるTDDS技術（皮膚から薬剤を吸収させる貼付剤）の医療効果が見直されていることから、将来さらにマーケットが拡大すると思われる。



■ 栃木県総合文化センターで開催された栃木地方産業安全衛生大会で主催者代表の一般社団法人栃木県労働基準協会連合会 藤澤智会長は、「労働災害が長期的には減少傾向にありますが、平成25年を境に2年連続で増加し、休業4日以上死傷者数は平成25年が1786件、26年が1818件、27年が1832件と、ここ3年間は未曾有の傾向にあります。

さらに、ストレスを感じる労働者の問題の高止まり、精神障害による労災認定件数も高い水準で推移していると聞き及んでいます。

日本経済は、人口減少や高齢化を始めとした構造的な問題への取り組みが、やや遅れている感もあります。

一方、世界は未来を展望しIOTを基軸とした第5次産業革命の様相が始まりつつあります。日本もドイツやアメリカといった世界最先端のこの潮流に乗り遅れることのないよう、日本の持つ潜在能力を発揮して、この競争に打ち勝ち、併せて日本の経済・社会に残るしこりを払拭し、日本経済の新たな契機としなければなりません。

いかなる時代であっても、働く人の安全と健康の確保はすべてに優先する課題であることは、いまさら申し上げるまでもありません。

本年7月の厚労省と中災防が主唱した全国安全週間は、「見えますか？ あなたのまわりの見えない危険 みんなで見つける 安全管理」をスローガンに全国各地、各団体で多彩な関連行事や取り組みが行われました。

また、「健康職場 つくる まもるは みんなが主役」をスローガンに、全国労働衛生週間を10月1日から10月7日までの1週間実施中です。経営トップから管理監督者、安全衛生スタッフ、働く人々が一丸となって、事業場における安全衛生活動の充実強化に向けて最大限の努力を続けていくことが重要であります。

我々は、労働災害のない安全な職場をつくるため、関係法令の順守、リスクマネジメント、労働安全マネジメントシートの導入展開を積極的に進めなければならないところです。本日のこの大会を契機に、関係各位が災害のない安全な職場づくりに一層のご尽力をされるようお願いいたします」と挨拶しました。

■ 第1部の表彰式において、全国THP推進協議会長表彰の進歩賞を株式会社オートテックジャパン様が、功労賞を株式会社本田技術研究所四輪R&Dセンターの森島朝子様を受賞しました。

THP優良賞とは、働く人の心と体の健康づくり運動において功績のあった事業場及び個人に対する表彰です。

その後、大会宣言が提言され、満場一致で労働災害の撲滅に向け誓いを新たにしました。

■ 第2部では、「タニタの健康セミナー タニタ食堂に学ぶ500Kcalまんぷく定食のコツ」と題して、(株)タニタヘルスリンクヒューマンサービス企画部 管理栄養士松村えり子氏による特別講演がありました。



■ 管理センター管理組合役員会を開催

芳賀町と芳工連で組織する芳賀町工業団地管理センター管理組合の役員会を10月24日開催しました。

この管理組合は、芳賀町の委託を受けて管理センター及び体育館の適切な運営、施設管理を行うとともに芳工連の活動運営を支援し、あわせて地域における公共施設として有効利用を促進することを目的に運営しています。

芳工連役員としては宮崎副会長が副組合長、河合会長、富永副富会長、岩野明男監事が理事、京條友彦理事が監事に就いています。

上野哲男組合長（芳賀町副町長）は、「昨日は宇都宮城址公園で爆破事件がありました。また、21日には鳥取県を震源とする地震が発生するなど、このところ心配なことが起っています。

嬉しいニュースとしてはホンダエンジニアリング(株)様の男子ソフトボールチームが県代表として国体で優勝されました。民間会社による地域ブランド調査で栃木県はワースト2位と大幅に順位を下げ、地方創生の時代にあって魅力度アップが課題となります」と挨拶しました。

議事については、役員の一部改選が上程され、理事である三菱UFJ信託銀行芳賀センター長の荒井俊人様が人事異動により退任し、後任者の岩野明男様を選任する人事案件が承認されました。

上半期の事業執行状況、収支補正予算、工事及び修繕等の内容、上半期の会議室及び体育館利用状況について審議いただき、全員の賛成ですべて可決されました。

また、会議終了後にLRT事業計画について町都市計画課担当者から説明がありました。



■ 役員及び正副部会長の変更

所属会社の人事異動により、役員並びに正副部会長が次のとおり変更となりました。

【役員】

役職	企業名	変更前	変更後
監事	三菱UFJ信託銀行芳賀センター	荒井 俊人	岩野 明男

【正副部会長】

部会役職名	企業名	変更前	変更後
環境整備部会長	東洋濾紙(株)芳賀工場	正木 尚	半田 毅
交通防犯部会長	ホンダエンジニアリング(株)	井戸 一樹	風呂 敏明
交通防犯副部会長	(株)本田技術研究所四輪R&Dセンター	内田 啓一	小澤 和司

■ 岩手国体でソフトボール優勝

岩手県で開催された第71回国民体育大会男子ソフトボール成年男子の部に栃木県代表として出場したホンダエンジニアリングソフトボール部は、10月4日の決勝で岡山県代表を2対0の完封で下し、栃木県に9年ぶり2度目の優勝をもたらしました。優勝おめでとうございます。

チームは『絆～心をひとつに～』のスローガンのもと、日本一を目指して努力してきました。

次は、いよいよ日本リーグ決勝トーナメントです。健闘をお祈りします。



■ 第45回日本男子ソフトボール決勝トーナメント出場

ホンダエンジニアリングソフトボール部は、11月12日(土)・13日(日)に宇都宮市西川田の栃木県総合運動公園野球場で開催される第45回日本男子ソフトボール決勝トーナメントに出場します。

西日本、東日本でそれぞれリーグ戦を戦い、勝ち残った東西上位4チームが出場する頂上決戦です。東日本リーグで優勝したホンダエンジニアリングソフトボール部は、この大会で2年ぶり日本一の奪還を目指します。

初戦は11月12日(土)午後1時から愛媛ウエスト戦、準決勝は11月13日(日)午前10時、決勝は同日午後1時30分からです。応援をお願いします。

芳工連日誌

【10月の実績】

- 3日 交通安全のぼり旗撤去
- 4日 芳工連第3回役員会
- 5日 栃木地方産業安全衛生大会
- 7日 芳賀町観光協会視察研修
- 11日 総務企画部主催若手研修会
- 20日 第3回クリーン作戦
- 24日 管理センター管理組合役員会
- 26日 資源ごみ回収日
- 27日 第2回総務企画部会
- 27日 安全運転動画 KYT 講習会
- 28日 第2回安全衛生部会
- 31日 県県土整備部長への陳情

【11月の予定】

- 2日 県産業労働観光部長との意見交換会
- 6日 第35回芳賀町民祭
- 8日 芳賀郡市公衆衛生大会
- 9日 初級管理者セミナー
- 11日 芳工連全体研修会
- 15日 真岡地区産業安全衛生大会
- 16日 資源ごみ回収日
- 24日 第2回環境整備部会
- 24日 芳賀町民チャリティーゴルフ大会
- 25日 危険予知訓練講習会
- 26日 第53回芳工連ゴルフ大会
- 29日 芳賀町商工会との交流会